



3月くれよんクラブ

第36号
発行日：令和4年3月

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになってきました。いよいよ、今年も残りわずか。この一年で大きな成長した子どもたちの姿が嬉しく、頼もしさを感じているこの頃です。

3月の目標



★3月生まれ★

今月は3名です♪

♪おたんじょうび おめでとう♪

★3月 予定★

◎3/21(月) 春分の日

◎3/26(土) 避難訓練

◎「できた！」が増えるトレーニング◎

くれよんクラブでの個別の時間や活動、好きな遊び、余暇活動などで、「方針を持った丁寧な子育て、関わり」を意識して一人ひとりの子と関わっています。その子のニーズに合わせて活用しているやり方を紹介するので、家でも「できた！」が増えるヒントにしてみてください。

決めるのは誰？決定権を示すことの重要性

人の指示を聞くのが苦手な場面では、決定権が「自分にある」と思っていることが少なくありません。

「子どもが自分で決められること」・「大人が決めること」が明確になるように

「これを決めるのは〇〇（先生・父・母）です。」

と役割を伝えることで子どもは指示に沿いやすくなります。

ポイントは、決定権を伝える前に子どもの気持ちへの共感を示すと伝わりやすくなります。

例えば・・・「もっと遊びたい」とこねたとき、

そうだね。もっと遊びたかったね。（共感）

でもね、決めるのは先生です。



子ども自身で決められることと、大人が決める事を区別出来るように分かりやすく伝えることが大切です。

★くれよんクラブでも、一人ひとりの子話をよく聞いて、気持ちに共感し、その後、「これを決めるのは先生です。」や「今は〇〇さんが決める人です。」とルールを示し誰に決定権があるのかをお話していき、伝えていきます。決定権が誰にあるかが分かると、気持ちが切り替えやすくなります。

～本：「できた！」が増えるトレーニングより～